

愛知みずほ大学・愛知みずほ短期大学 第3次中期計画

目標領域	戦略課題・施策	行動	目標	担当	部門	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度	2023(令和5)年度	2024(令和6)年度	2025(令和7)年度	2026(令和8)年度
教学改革	①3ポリシーの点検・評価とその具現化 ②教育方法の改善	①学修成果の可視化に基づきDPを点検・評価するとともに3Pの整合性を図り、具現・実現化する。 ②ノートPCを一人1台導入による対面授業の見直し及び遠隔授業とのハイブリッド型体制の充実を図る	①新DPに基づく新カリキュラムの構築と実施 ②ハイブリッド型体制の充実	①教学マネジメント推進委員会 ②教務委員会	大学	「教育目標」を時代の要請に応えるよう見直し & 新科目の検討	新システムによる到達度の可視化による現行カリキュラムの検証	新カリキュラムスタート&検証				
						3Pの見直しとこれに伴う新カリキュラムの検討	新「教育目標」に新科目の導入・ハイブリッド型体制の検討					
教学改革					短大	時代の要請に応える新科目の検討						
						新科目の導入、ハイブリッド型体制の検討						
教学改革					短大	養護教諭コースのカリキュラムの見直し & 新カリキュラムの検討	新システムによる到達度の可視化による現行カリキュラムの検証	PDCA(検証結果のカリキュラムへの反映)				
研究力強化	①学園紀要構成の点検・評価 ②教員の研究力及び学生の探究力の向上	①紀要への投稿規定を始め在り方を再検討する。 ②教員の教育研究活動の活性化(紀要への投稿義務及び学長裁量経費等研究費の分配について、また学生の探究力を向上させるための体制づくりと評価法について検討する)	①学園紀要の学園ブランド化への寄与強化 ②教員の学園紀要への投稿義務の実施 学生の探究力向上体制の構築と評価の可視化	①瀬木学園紀要委員会 ②研究力強化委員会	大学・短大	研究力強化委員会の設置	紀要の点検・評価と教員の研究活動の啓発	教員の研究啓発活動の実施				
						学生の探究力を向上させるための体制づくり	学生の探究力を向上させるための評価法を策定	教員の研究啓発活動の点検・評価				
研究力強化					大学・短大	学生の探究力向上策の実施・点検・評価						
就職支援	就職支援体制の見直し	体制を見直し、新企業の開拓と企業の求める人材像の把握により関係強化を図る	就職率100% 優良企業開拓を含め100社にする 専門を活かして就職率100%	就職委員会 キャリア支援室	大学・短大	外部評価する体制の構築と定期化の確立	企業の求める人材の把握(アンケート&外部評価)	新企業の開拓本格化				
キャリア教育	正課外教育の体系化	入学前から入学後の年次進級にあわせてキャリア教育(基礎学力を含む)により、キャリア形成の充実を図る	「みずほドリル」ベーシック・ステップアップ5教科完了者90% 就職対策コース実施100%	教務委員会	大学・短大	社会人基礎力向上に向けての検討 「みずほドリル」の運用改善の検討 「プログ」の運用改善の検討	社会人基礎力向上の改善案の実行 「みずほドリル」ベーシック・ステップアップ2教科完了者90%	「みずほドリル」ベーシック・ステップアップ3教科完了者90% 就職対策コース実施50%				
						「みずほドリル」ベーシック・ステップアップ5教科完了者90% 就職対策コース実施100%						

目標領域	戦略課題・施策	行動	目標	担当	部門	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度	2023(令和5)年度	2024(令和6)年度	2025(令和7)年度	2026(令和8)年度
入学定員の確保	①個別選抜の適正化 ②広報活動の有効化	①選抜方法の内容及び比重等を検証する。②費用対効果を配慮した広報活動の見直し、時代に即応した広報の実施	入学定員充足	入学試験委員会(大学) 入試広報委員会(短)	大学・短大	2020年度実施選抜方法の見直しによる2022年度入試ガイドの作成		入学直後のアンケートの実施と評価		オープンキャンパスの点検・評価		
魅力ある学園づくり	卒業生と在校生の相互支援	同窓会活動を見直し、卒業生が学び、参加しやすい企画と広報の見直し充実を図り、卒業生と在校生の相互支援としてのメンター制を構築する	卒業生・在校生相互の学習広場・集いの場の確立 メンター制の確立	学生委員会(大) 学生厚生委員会(短)	大学・短大	同窓会規定等の在り方を見直しメンター制の在り方を検討				新企画の実施およびアンケートの実施・集計・分析・反映、PDCA		
産学官連携による学生のための実践教育	共同企画により学生の社会における実践力の向上	各企業とのPBL、名古屋市、また瑞穂区との連携協定に基づく各種企画への学生参加による実践教育を充実する	大学：全てのコースにおいて実施 短大：学科専攻コースにおいて実施	窓口：キャリアアセンター 実施：関係する学科、専攻、コース	大学・短大	外部評価体制の構築と定期化の確立	現状の見直しと対策			新企画の実施および評価		
評価のフィードバック	各種アンケートによる結果の確実な反映	学生による授業評価アンケートおよび満足度アンケート、入学直後アンケート、企業アンケート、卒業生アンケート等の全学的に実施されるアンケート(共同企画時に実施されるアンケートは含まない)の集計と分析により表出した課題を関係する委員会等へ提案する	関係する委員会は結果を検討の上、次年度へ確実にフィードバック	IRセンター	大学・短大					実施および評価、分析、報告		
地域貢献・社会貢献	「健」に基づく活動により地域・社会への貢献	大学・短大合同企画や各組織の特性を活かした独自の企画により地域・社会へ貢献する	独自の企画の考案・実施	コミュニティ委員会	大学	合同企画および独自企画の検討				企画の実施およびアンケートの実施・集計・分析・反映		
			社会人の入学希望に繋がる企画の考案・実施	公開講座委員会	短大	社会人の入学希望に繋がる企画の検討					企画の実施およびアンケートの実施・集計・分析・反映	
高大連携	大学・短大保有教育資源の高校への提供	「出張講座」「ピアノ練習」をはじめ教育・芸術指導、「公開授業」などの充実強化する	瑞穂高校を中心の充実を図るとともに、本大学・短大通学圏内高等学校へ拡大	窓口：高大連携委員会 実施：関係する学科、専攻、コース	大学・短大	継続企画の充実と新企画の検討				新企画の実施およびアンケートの実施・集計・分析・反映		
教職課程	教職課程における自己評価制度の準備	「ICT」科目の準備・届出、自己評価制度準備作業を進める	認証評価体制の確立	教職センター	大学・短大	「ICT」科目の準備・届出				自己点検評価制度準備委員会の設置・作業		
								自己点検評価報告書の公開				報告書に基づく教職センター体制の運用・改善

学校法人瀬木学園 第3次中期計画 (2021-2025)

【瑞穂高等学校】

	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度	2023(令和5)年度	2024(令和6)年度	2025(令和7)年度	2026(令和8)年度
基本目標	<p>基本目標</p> <p>教育理念： 健への志</p> <p>社会の要請： 主体性、道徳性、社会性を備えた生徒の育成</p> <p>教育目標： 知徳体の調和がとれ、未来をたくましく生き抜く気力あふれる人間の育成に努める</p> <p>ア 自ら考え、自ら行動する人間</p> <p>イ 広い視野に立ち、たゆみなく努力する人間</p> <p>ウ 敬愛の心を重んじ、進んで協力する人間</p>						
新学習指導要領対応	<p>新教育課程の編成 実施計画の策定 新教育課程の実施</p> <p>普通科コースの再編・コース名称の変更と普通科教養コースの新設</p> <p>教育力の向上を図る取組</p> <p>① ICTを活用した教育 ② アクティブラーニング ③ 「総合的な探究の時間」の充実 (国際理解、進路研究、SDGsへの取組み)</p> <p>インターンシップの実施 ⇨ 商業科の生徒全員に実施</p>						
生徒募集	<p>生徒減少への対応</p> <p>① 学校案内等の改善</p> <p>② Q&Aに加えて新たな生徒配布資料の作成</p> <p>③ 学校訪問、体験入学、公開見学、入試説明会の充実</p> <p>インターネット出願システムの導入</p> <p>セールスポイントとその広報の強化</p> <p>① 建学の精神・教育理念のアピール</p> <p>② 高大連携・高大接続のアピール</p> <p>③ 教育内容・教育方法の改善</p> <p>④ 進路実績の向上</p> <p>⑤ 教育環境整備 (ICT環境、校舎老朽化対策)</p> <p>⑥ 学校行事・部活動アピール</p> <p>⑦ 地域連携の活発化</p>						
進路実績の向上	<p>進路実現の向上を図る取組の充実</p> <p>① 1年次からの生徒の意識付けと家庭学習の習慣付け</p> <p>② 早朝・土曜・長期休業中の講座の定着化</p> <p>③ 学習合宿の充実</p> <p>④ 適時の進路情報の提供</p> <p>高大連携の活用</p> <p>愛知みずほ大学・愛知みずほ短期大学との交流機会の活発化 (説明会、授業、講演、イベント)</p>						
ICT環境整備・活用	<p>(教員関係) 大型表示装置の利用・生徒用タブレット活用の授業実施</p> <p>タブレット端末・サーバー整備</p> <p>(生徒・教室関係) 利用環境の利便性の向上・活用領域の拡大</p> <p>大型表示装置・サーバー・Wi-Fi環境整備</p> <p>タブレット端末配布・インターネット回線増設・ネットワーク関連機器増設</p>						
その他	<p>情報発信： 保健室から保護者への情報提供 (保健だより、来室状況等)</p> <p>生徒把握と不適応対応： 教員の生徒把握、生徒の自己理解、生徒及び保護者面談に活用できるアンケートの実施</p> <p>基本目標を達成するための取組みの充実： 生徒会活動、全校集会、HR、総合的な探究の時間、学校行事</p> <p>学校活性化： PTAとの連携、同窓会との連携、地域との連携</p> <p>課題</p> <p>教育環境の整備</p> <p>部活動の維持・向上と学校における働き方改革への対応</p> <p>ICT環境の維持管理及びトラブル対応</p>						

